

不登校について

議員 ①問題があった場合、どこに相談すればよいのか。また、教員・校長に話せない場合、役所や教育委員会が直接話を聞いてくれるような体制が整っているのか。②いじめに関する防止措置を市や学校の取り組みとしてどのように構築しているのか。専門指導員はどの程度の効果をあげているのか。**教育長** ①教育に関する相談施設として教育相談室を設置している。臨床心理士等も配置して、不登校や発達障害、問題行動等多くの相談に応じており、子育て支援課や倉敷児童相談所の井笠相談室等とも連携を図りながら、きめ細かい対応に努めている。

子ども同士や集団との関わりについて、状況をとらえて指導することが重要であり、市としては就学前の段階から集団内における子どもの困り感をとらえて対応するようにしている。

いじめ対策専門指導員は、昨年度から教育委員会に配置している。いじめの初期対応や関係機関と連携した対応、事後のフォロー等についてきめ細かい対応をしている。個々の状況について情報管理を行いながら対応しており、いじめに対する直接的な対応だけでなく、いじめにつながる可能性のあるケースや不登校、問題行動、虐待等のケースも含めて対応している。

立真会

光明つよ
井坂原
和公て
口本田
質問者
メンバー

高齢者等の安否確認について

議員 インターネット等を利用した、映像による高齢者等への毎日の声かけについて、市として積極的に事業を実施する考えはないか。**市長** 市全体を網羅するようシステムを構築すると、多額の経費が見込まれる。しかし、このようなシステムは有効であると考えている。

今後、国や県の補助制度を活用して導入が可能かどうか、先進事例の研究も行いながら検討していきたい。

自死家族・遺族のケアについて

議員 行政による自死遺族を支える取り組みはほとんどなされていないのが現実である。本市における取り組みの現状と今後の方針についてたずねる。

市長 岡山県の自殺予防情報センターを紹介していきながら、予防対策に努めて

いかなければならないと考えている。また、備中保健所管内では、自死遺族の会が発足した。今後、県等とも連携を十分とり、適切な情報提供を行い、自死家族・遺族のケアに取り組む民間団体の活動の紹介等を行うしていく。

救急・消防・防災について

議員 ①救急車・消防車の進入不可能地域への対応の現状と、今後の方針についてたずねる。

②救急搬送体制の問題点と今後の取り組みについてたずねる。

消防長 ①救急車の対応としては、通常3名の隊員を4名で出動させる、救急隊の支援車両を増隊させるなどの対応をとって時間短縮を図っている。消防車両については、車両に積載しているホースカーや背負い器具等を使用して早期に放水体制がとれるようにしている。

建設産業部長 ①用地買収等の問題もあるが、関係者の協力をいただき、緊急車両の進入を可能にする幅員の確保に力を入れながら、順次道路改良を進めていきたいと思っている。

消防長 ②本市では、消防と医療機関による救急業務推進協議会を設置し、体制の強化が図られている。また、倉敷地域の医療機関とはスムーズな連携が図られていると考えている。福山については、医療機関・消防機関等を委員とする「みんなで考える井笠の医療」も立ち上げられたので、福山との医療連携も図られるものと期待している。

また、大きな問題として、軽症者の救急搬送件数が40%を超えていることから、限られた救急車の適正運用について積極的に取り組んでいきたい。

ほかに★干拓粗飼料供給基地★平和の広場について質問しました。